

令和5年度 総合的な学習の時間の全体計画

教育目標
 自ら学びよく考える子
 豊かな心と 丈夫な体をもつ子
 島を愛し 世界を理解する子

総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

		総合的な学習の時間で育てたい資質や能力及び態度		学習内容					
		中学年	高学年						
学習方法に関すること	課題設定力	・体験を通して気付いたことや、身の回りの人から聞いたことを基に課題を見付ける。 ・他者の関わりの中で課題を捉え、調べようとする意欲を高める。 ・課題に対する自分なりの考えや予想を立てる。	・これまでの経験や既習の学習とつなげて考え、課題を設定する。 ・体験や、他者との交流、資料等を多面的に捉えて課題を設定する。 ・課題解決のために、方法、時間、まとめ方などの解決の見通しをもち、課題解決の意欲を高める。	3年	「発見!大賀郷」 自分が住んでいる地域の良いところを探し、調べたことをまとめ、発表する。	「“こなさま”プロジェクト」カニコを育て、命あるものを大切にするとともに、黄八丈について調べ、分かったことをまとめて発表する。	「発信しよう わたしたちの八丈島!」自分たちが住む大賀郷や八丈島について調べたことや学んだことを、お世話になった地域の方たちに伝える。		
	情報収集力	・情報収集の方法を選ぶ。 ・身近な人や図書資料、インターネット等から必要な情報を集める。 ・見付けた情報を友達と共有する。	・目的に合う情報収集の方法を考える。 ・課題解決に必要な情報を集め、取捨選択し、効果的に活用する。		4年	「安心・安全マップ」 自分が住んでいる地域の危険箇所を調べ、分かったことや考えたことを地図にまとめる。	「心のバリアフリーを目指して」障害者や高齢者が困っていることや苦労していることを理解し、共に生きるために自分たちができることを考える。	「伝えよう、東京都の伝統文化」東京都の伝統文化について調べ、人々の願いや思いを知ると共に、分かったことをまとめて伝える活動を通して東京の伝統文化への興味関心を深める。	
	整理・分析力	・調べて分かったことをカードや表やグラフ等に記録する。 ・事実や経験を踏まえて考える。 ・比較、分類、関連付けて考える。	・課題に沿ってカードや表やグラフ等に整理する。 ・事実や経験を踏まえて考える。 ・比較、分類、関係付け、類推等を通して、情報を多面的に捉え、考える。			5年	「目指せ お米マイスター」 米作り体験 米に関する調べ学習を通して、命の大切さや収穫の喜びを知る。	「環境会議〜わたしたちができること〜」日本や世界の環境問題について調べ、その解決策を考え、自分ができることを発表する。	「〇〇tubeで情報発信!」メディアの特徴や情報発信者が気をつけていることを踏まえ(社会科)、自ら情報発信者として課題を立て、取材をし、情報の受け手を意識した動画を作成する。
	表現力	・相手や目的に応じて適切に表現する。 ・自分の考えが分かるように筋道を立てて発表する。 ・自分の考えや思いを様々な表現方法でまとめたり相手にすすんで伝えたりする。	・目的や意図に応じて効果的に表現する。 ・資料の使い方を工夫し、意図を明確に伝える。 ・自分の考えや思いを、相手に分かりやすいように伝える。				6年	「TOKYO再発見!」 東京の魅力を調べ、実際に見学し、分かったことをまとめる。	「世界を知ろう」 外国人に対する偏見や差別の現状を理解し、共に生きていこうとする態度を育てる。
他者や社会に関すること	コミュニケーション能力	・身近な人や専門的な立場の人にすすんで関わり、自分の疑問を伝えたり、相手の話を聞いたりする。 ・相手の意見を聞き、異なる意見や他者の考えを知る。	・身近な人や専門的な立場の人にすすんで関わり、自分の疑問を伝えたり、相手の話を聞いたりして交流を深める。 ・相手の意見を聞き、異なる意見や他者の考えを受け入れ、それに対して自分の考えをもつことができる。	全				「見付けて発信 八丈の魅力」八丈の魅力を知り、発信する。	
自分自身に関すること	自己を見つめる力	・調べたことを基にして自分のできることは何かを考える。 ・学習を振り返り、やってみたいことやさらに深めたいことを話し合い、これからの活動を考える。	・自らの生活の在り方を見直し、考え行動する。 ・調べたことを基にして、自分のできることは何かを考えて行動する。 ・学習を振り返り、情報を再構築し、自分自身の考えや新たな課題を自覚する。						

【指導方法及び育てたい力に迫る手だて】

- 探究的な学習の重視
⇒課題設定⇒情報収集⇒整理・分析⇒まとめ・表現の繰り返し
(スパイラル)
- 体験的な活動の充実⇒自然、社会、文化芸術に関わる活動
- 協同的な学習活動の充実⇒多様な情報の活用、異なる視点での考え

【学習の評価】

- 【知識・技能】
①概念的な知識の獲得②自在に活用することが可能な技能の獲得③探究的な学習のよさの理解
- 【思考・判断・表現】
①課題を発見し設定する力②情報を多様な方法で収集する力③比較したり関連付けたりする力④相手や目的に応じて効果的に表現する力
- 【主体的に取り組む態度】
①自己理解・他社理解②主体性・協働性③将来展望・社会参画

評価方法
 活動観察、作品分析、
 活動の記録等